



発行元：iP-U 事務局 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 宇都宮大学 TEL.028-649-5411 / 発行日：令和元年 12月 15日

iP-U の先輩に聞く② 橋本苑子さん

みなさんこんにちは。私は、高校2年生の夏から3年生の初めにかけて宇都宮大学グローバルサイエンスキャンパス (iP-U) に参加していました。基盤プランでは、農学・生命科学に関する講義を中心に受講していました。特に、一日獣医師体験講座や生殖科学実験講座でウシの卵巣から注射器で卵子を取り出して顕微鏡で観察したことが今でも印象に残っています。才能育成プランでは、工学部の大庭教授の指導を受けながら緑色蛍光タンパク質に関する研究を行い(注1)、芝浦工業大学で開催された高校生化学クラブ研究発表会に参加しました。

進学では、iP-U でお世話になった宇都宮大学にまるで鮭のように戻ってきて、勉強やサークル活動、アルバイトや旅行などアクティブに学生生活を送っています。さらに、この秋から、基盤プラン講座で印象に残った生命科学について、生物資源科学科の動物育種繁殖学研究室で研究できることを嬉しく思っています。

iP-U は貴重な経験のできる場所だと思います。iP-U では、自分の好きな分野に没頭できている人や、自分の知らないことに精通している人がたくさんいました。そのような人たちとディスカッションすることで刺激を受けたり、何気ない会話の中で科学について話したりすることによって自分の考えを深めることができました。今思うと、普段の高校生活では味わえない、iP-U ならではの特別な環境でした。また、ちょうど皆さんは進路選択をしていく上で重要な時期かと思いますが、iP-U のコーチングによって、自分がどこを目指していて、目標に近づくためには何をどのように行えばよいかを自分自身で考える力が身に付いていくと思います。iP-U は自分の考えを高められる場所であると感じています。

皆さん、ぜひ iP-U での環境を大切にしてください。そして、講座などで興味を持ったことがあったら、自分の目や足で確かめてみてください。行動を起こすことによって、自分の知らなかった世界が広がります。

皆さん、目標に向かって頑張ってください。

注1) 橋本さんが iP-U で行った研究「Synthesis of Green Fluorescent Protein Chromophore Analogues for Interdisciplinary Learning for High school Students」は、「JOURNAL OF CHEMICAL EDUCATION」(2019)に掲載されました。96(3),pp503-507

iP-U レターズ Vol.4 に続いて、iP-U 修了生の先輩の声をお届けします。今回は橋本苑子さん(平成 27~28 年受講生：宇都宮大学農学部 3 年生)が、10 月 14 日の「イノベティブ・デザイン入門」の後に行った、iP-U の活動紹介に沿ってお伝えします。

